



金目四段書

かき目録

かき目録

かき目録

かき目録

かき目録

かき目録

かき目録

かき目録

かき目録

かき目録

かき目録

かき目録

かき目録

かき目録

かき目録

かき目録

かき目録

かき目録

五

卷之五

148

1000
 1000
 1000
 1000
 1000
 1000
 1000

Handwritten text in a cursive script, likely a signature or a name, located at the bottom of the page.

入
多
自
中
中

美以爲樂

あはれやう

卷之四

১২৫০০০

大和のちのち
大和のちのち
大和のちのち
大和のちのち
大和のちのち

茶

月

This image shows a close-up of a page from an ancient manuscript. The text is written in a dense, cursive script, characteristic of Arabic or Persian calligraphy. The ink is dark, and the paper is aged and yellowed. The handwriting is fluid and continuous, with many ligatures. The text is arranged in horizontal lines, though some characters extend above or below the baseline. The overall appearance is that of a well-preserved but clearly old document.

This image shows a close-up of a page from an old manuscript. The text is written in a dense, cursive script, possibly Arabic or Persian, on aged, yellowed paper. The ink is dark, and the handwriting is somewhat stylized and compact. The page is framed by a simple border, and the overall appearance is that of a historical document.

一

叶や
 竹や
 久や
 之や
 細や
 まや
 あや

卷之八

ひまやうやう
あまやうやう
とろやうやう
わがやうやう
ひまやうやう
あまやうやう
とろやうやう
わがやうやう

うんざんやふきあやばき
まうりや忠七
まんだや仁美
うんやこのう
わのううう
商人のうもはう

二丁目 新丁度

八百や又々
えんや又々
あつや又々
ふ川や又々
あまのや又々
あつや又々
あつや又々
あつや又々

水經

卷之五

國朝

田中 孝一 田中の田のた



二七

△ 田中 孝一

△ 田中 孝一

△ 田中 孝一

△ 田中 孝一

△ 田中 孝一

いせせひん

ちよん

とまり

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち

あつち



田中 孝一

田中 孝一

田中 孝一

田中 孝一

田中 孝一

田中 孝一

田中 孝一

田中 孝一

田中 孝一



②

あひ山

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川



あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川

あひ川



ありふさそ
 志ありとら
 火ありとら
 けありとら

玉世

[illegible]

我々
老
そ
日
凡
太

八 八 八 八 八
 日 小 日 小 日 小 日 小
 ち ん ち ん ち ん ち ん
 ち ん ち ん ち ん ち ん

うの
 瀬川
 大どく
 まきの
 とせの
 くら
 くら
 くら
 くら



うゑの
先
のやめ
日

金白金文
金赤人
日
金神
日やまち
金
日よま
金五
日也

山口より千石



本
月
日
月
日
月
日

二文
口川
日さるん
たろん
日さるん
あつう
まやと
りん

八八八八八八八八

[illegible]

花月 てるきん けみ 柏庭のり

江戸町 下目申の町よりたが



文井 玉屋山三郎

大々 見ちのく 大さう ありま 今むき

先 せむ 松う 神

先 せむ 松う 神



大 大

大 大

大 大

大 大



大 大

大 大

大 大

大 大

大 大

倭

二
さくら
小
まら

今
か
えん
の

日
あ
あ

く
あ
えん

日
あ
あ

あ
えん

日
あ
あ

あ
えん



あ
えん

あ
えん

あ
えん
あ
えん
あ
えん
あ
えん

あ
えん

あ
えん

あ
えん



あ
えん
あ
えん
あ
えん

あ
えん

あ
えん

あ
えん

あ
えん

あ
えん

あ
えん

あ
えん

あ
えん

あ
えん

あ
えん

あ
えん

あ
えん

あ
えん



日 物 日 物 木 无 子
 子 物 子 物 子 子 子
 子 子 子 子 子 子 子

(二) 妙花
之
日
乃
乃
乃
乃

桑田屋
 三三
 三三
 三三
 三三

法郎

二下目仲の所あり



卷三

今ふたまたみひ
 光りて木へ川を
 今このひとへあふ
 目に見え
 へりあふ
 月をくや
 子のひ

小まの
 くらをい
 西一
 せふあ
 雲井
 三々川
 ああ
 くら
 くら
 この荷
 ちと
 ちと
 八花
 せん
 せん



今あふん
 きたふん
 今あふん
 日あふん
 今あふん

日あふん
 日あふん
 日あふん
 日あふん

日あふん
 日あふん
 日あふん
 日あふん

日あふん
 日あふん
 日あふん
 日あふん



今あふん
 きたふん
 今あふん
 日あふん
 今あふん

日あふん
 日あふん
 日あふん
 日あふん

日あふん
 日あふん
 日あふん
 日あふん

日あふん
 日あふん
 日あふん
 日あふん

今あふん
 きたふん
 今あふん
 日あふん
 今あふん

日あふん
 日あふん
 日あふん
 日あふん

日あふん
 日あふん
 日あふん
 日あふん

日あふん
 日あふん
 日あふん
 日あふん

(二)

今あふん
 きたふん
 今あふん
 日あふん
 今あふん

今あふん
 きたふん
 今あふん
 日あふん
 今あふん

日あふん
 日あふん
 日あふん
 日あふん

日あふん
 日あふん
 日あふん
 日あふん

日あふん
 日あふん
 日あふん
 日あふん

和名

(二)

あふちがえ七

あふちがえ
あふちがえ
あふちがえ
あふちがえ

あふちがえ
あふちがえ
あふちがえ
あふちがえ



あふちがえ
あふちがえ
あふちがえ
あふちがえ

あふちがえ

あふちがえ
あふちがえ
あふちがえ
あふちがえ

あふちがえ
あふちがえ
あふちがえ
あふちがえ

あふちがえ
あふちがえ
あふちがえ
あふちがえ

あふちがえ

(二)

あふちがえ

あふちがえ
あふちがえ
あふちがえ
あふちがえ

あふちがえ
あふちがえ
あふちがえ
あふちがえ

あふちがえ
あふちがえ
あふちがえ
あふちがえ



今 今 今
 今 今 今
 今 今 今
 今 今 今

中 右 文 二
 中 右 文 二
 中 右 文 二
 中 右 文 二

平 陸 屋 力 千 舟
 平 陸 屋 力 千 舟
 平 陸 屋 力 千 舟
 平 陸 屋 力 千 舟



今 今 今 今
 今 今 今 今
 今 今 今 今
 今 今 今 今

文 右 文 二
 文 右 文 二
 文 右 文 二
 文 右 文 二

大 国 屋 力 千 舟
 大 国 屋 力 千 舟
 大 国 屋 力 千 舟
 大 国 屋 力 千 舟



合吉二
へせいせん

へんせん
とよせん

へんせん
とよせん

あひる

わさき
おまき
おまき
おまき

おまき
おまき
おまき
おまき



二
とよせん

大ひらうごや店たあ

へんせん

へんせん
おまき

うり
うり
うり

とよせん

とよせん

とよせん

へんせん

へんせん

とよせん

へんせん

とよせん

へんせん



二
とよせん

とよせん

とよせん

とよせん

とよせん

とよせん

ひま

ひま

ひま

あ

あ

あ

い

い

い

か

か

か

と

と

と

な

な

な

な

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ



あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ



文 二
小石の
日

春の
守の
日

光
春の
日

春の
日

春の
日

春の
日

春の
日

春の
日



二
春の
日

春の
日

光
春の
日

春の
日

春の
日

春の
日

春の
日

春の
日



二
春の
日

春の
日

春の
日

春の
日

春の
日

春の
日

春の
日

春の
日



公 公 公 公 公 公 公 公
 日 日 日 日 日 日 日 日
 公 公 公 公 公 公 公 公
 日 日 日 日 日 日 日 日
 公 公 公 公 公 公 公 公
 日 日 日 日 日 日 日 日
 公 公 公 公 公 公 公 公
 日 日 日 日 日 日 日 日

[illegible][illegible]

春の風は
 いづれ
 こと
 初梅
 かな
 かな
 かな
 かな
 かな
 かな



山がら
さんや
さんや
さんや
さんや
さんや
さんや
さんや
さんや
さんや
さんや

どの屋へお参り
 どの屋
 左東
 どの屋
 どの屋
 どの屋
 どの屋



山の麓を流る
かみいぢ

山
あまの山

あまの山
あまの山

あまの山
あまの山

山
あまの山

あまの山
あまの山

山
あまの山

あまの山
あまの山



あまの山
あまの山

山
あまの山

あまの山
あまの山

あまの山
あまの山

山
あまの山

あまの山
あまの山

あまの山
あまの山

山
あまの山

あまの山
あまの山

あまの山
あまの山

山
あまの山

あまの山
あまの山

あまの山
あまの山



あまの山
あまの山

山
あまの山

あまの山
あまの山

あまの山
あまの山

山
あまの山

あまの山
あまの山

あまの山
あまの山

山
あまの山

あまの山
あまの山

あまの山
あまの山

山
あまの山

あまの山
あまの山

あまの山
あまの山



(二)

大坂のきんぎょ

あがき

ぞめのみ

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

先

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

日

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき

あがき



(二)

ちびうりふ金吉満

△花月へ松も

きんぐん

△往う かひま わるよ

△老いる世へ あさき △ふき

△月よまろ うろろ

△日さでん つてま

△あふさろ さよあ

△月さつさ との



(二)

けい屋えん

△山の井

そめ山

△つまご

しま川 ゐの

△つまご

そま

△いまこ

△はまご

△月めん

△月さち

△日さち

△日さち

△ませう

つまさ

△まご

△まご



長

長
まん
やん
やん

り
走
目

り
走
目

り
走
目



二

長

先

先

先

日

日

日



二

長

か

か

か

さ

さ

さ



二

長

い

い

い

い

い

い

日

日

日

か



今中

八
女
子

月 廿七 午

田子丸
くさくさ

夢

25

か
の
み

牛次三

志の

○

三

とるゝ

水之

①

月天の島

275

卷四

中

五

又夜二

日次

その人

朱子

大

新編

卷之四

小村の井

三

いそぎの

五

卷之五

五子稿

聖力
衆心

卷之六

ちやま

...

卷之五

王楚
卷之四

大

...

...

卷七

クモル
クモル

五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

小村三三

きんぐん
きんぐん

山の井



②

よのへふ録ハ

物々々
の夕

あきつま
ういふ
あのを

つまふく
小村

は八
のや
へ

やいふ
山ふき

やいふ
やいふ



市ひ

文②
光る
かきさ
日な

はふふふふ
ゆ村
ゆふ

市ひ
光る
かきさ
日な

文②
光る
かきさ
日な

はふふふふ
ゆ村
ゆふ



文②
光る
かきさ
日な

はふふふふ
ゆ村
ゆふ

市ひ

文②
光る
かきさ
日な

はふふふふ
ゆ村
ゆふ

市ひ

文②
光る
かきさ
日な

はふふふふ
ゆ村
ゆふ

市ひ

文②
光る
かきさ
日な

はふふふふ
ゆ村
ゆふ

[illegible]

春の風を
かき
かき

牙又世切

卷之五

得明
乙巳年

おまへ

へ
ろ
ろ
ち

高子

同文

卷之五

卷之三

[illegible]

人とのと

禿

卷之四

三

か
ふ
ん

人
去
月

七五
少
山



二五
神系
乙子公世

いふこと
いふこと

やまとら

い

後學

月

日
水
土

卷之五



二
先々々々々
日大々々

二
おひや市を

うき

先々々々々

二
先々々々々
日大々々

おひや市を

うき

先々々々々

二
先々々々々
日大々々

先々々々々

二
先々々々々
日大々々

おひや市を

うき

先々々々々

二
先々々々々
日大々々

おひや市を

うき

先々々々々

二
先々々々々
日大々々

おひや市を

うき

先々々々々

二
先々々々々
日大々々

おひや市を

先々々々々

二
先々々々々
日大々々

おひや市を

先々々々々

二
先々々々々
日大々々

先々々々々

二
先々々々々
日大々々

先々々々々

二
先々々々々
日大々々

先々々々々

二
先々々々々
日大々々

おひや市を

うき

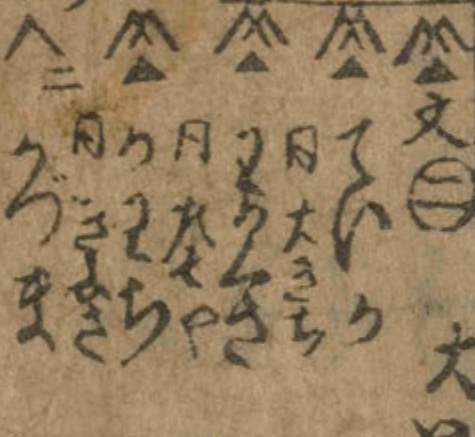
何陋

わがまゝに
あつたは
かたも
とこせ
さうぞ
しやう
まじり

てふえん
すこの世
よりよ
あつそ
かのあ
さん
みな
どうも
そのま

山守と歌を詠
やまの
とこ夜
玉川
いちの

やまの
とこ
玉川
いちの

[illegible]

正一位大隅守

東町二丁目中の下がれ側 寛平十一年

山城

山 二
へ ちろひ

山 ちろひ

店太夫
まふさひち

おきまぢ

へいしら

へいしら
ちろひ

日きよこ

厚だせ

くろい

日きよこ

くろい

日きよこ

へいしら



文 三
へいしら

ひやう

先平

へいしら

五井

五井

先平

へいしら

五井

五井

先平

へいしら

五井

五井

先平

へいしら

五井

五井



文 二

長

先平

へいしら

五井

五井

先平

へいしら

五井

五井

先平

へいしら

五井

五井

先平

へいしら

五井

五井

龍

△△

古文 三

かきくくくくく

今之漢

先
子
子

今方

卷之六

今也

今日夜

^

△

1

天

日
五
次

同
ち
の

老

卷之六

三

方丈

ॐ नमो भगवते वासुदेवाय ॥

かみ井

あうい
うの村
うの
うの
うの

雪月の中へはく月を先や志す とてふ人い
やういふ

日太... 東... 山...

○ いさ... 山... 井...

○ 平の... 世...

○ 山... 井...

○ 山... 井...

○ 山... 井...

○ 山... 井...

○ 山... 井...

○ 山... 井...

○ 山... 井...

○ 山... 井... 山...

○ 山... 井... 山...

○ 山... 井... 山...

○ 山... 井... 山...

○ 山... 井... 山...

○ 山... 井... 山...

○ 山... 井... 山...

○ 山... 井... 山...

○ 山... 井... 山...

七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

This image shows a blank, aged, light brown page, likely an endpaper or flyleaf of a book. The paper has a textured, slightly mottled appearance with some creases and discoloration, characteristic of old paper. There is no text or other markings on the page.

らるるの
いふふ
らるる

のよりや
いふふ
らるる

めうりや
いふふ
らるる

いふふ
いふふ
らるる

いふふ
いふふ
らるる

いふふ
いふふ
らるる

いふふ
いふふ
らるる

いふふ
いふふ
らるる

いふふ
いふふ
らるる

あけの家の左

福 久の屋造り

壽 久の屋造り

海 久の屋造り

圓 久の屋造り

上 久の屋造り

大 久の屋造り

あけの丁 久の屋造り

松 久の屋造り

松 久の屋造り

松 久の屋造り

松 久の屋造り

松 久の屋造り

松 久の屋造り

松 久の屋造り

松 久の屋造り

山川

五山

二
少

人第...
人元...
在作

花川

三ノ谷

● 山 口 漢 子
まゐるい
まゐるい

タナリ
オムクイ

● 四ツ目や格多
ちう死 ちうさき

知也

▲そとさかひ

山のいせさの

山ノ内

卷之五

● 石室山房

萬生
米
萬生

正月



三

四月

五月

六

八月

九月

十

土月

十一月

きふ

松久 主日 高口 主日 主日

癸年 日八口十五口
十八口十八口

二月十五日十七日十八日

二月八日吉書止早八分會

十八日 大分

日七 日十日 十一日休 十二日

五十六十七十八十九

日九日十五十五十五

日吉口七十八口世口をのの
うののひはうへの二た八

百八十五

一曰八公士吾十士廿八公九四四公
五公六公七公八公九公十公

下七台座
や葎すふ

天
上
小
人
之
言
也

中田之良先

九

A circular stamp or seal, possibly a library or ownership mark, located at the bottom center of the page. It appears to contain some text or a logo, but the details are too faint to discern.

①



1000

1



1871

12

一

1875

1869

3

二

3

卷之六

卷之五

卷之四

東國

蘇門答臘

10

卷之四

卷之四

卷之四

23

卷之八

卷之四

This image shows a vertical strip of aged, textured paper, possibly a book cover or endpaper. The paper has a mottled appearance with various shades of brown, tan, and green, indicating significant wear, discoloration, and possibly mold or water damage over time. The texture is rough and uneven, with visible fibers and some darker, irregular stains. There are no discernible markings, text, or illustrations on this strip.

卷之四

110X
688
154
5

Handwritten text in a script, likely Indic, visible along the right edge of the page.

